

# 2025年3月期第3四半期 決算説明会資料

2025年2月14日

東証プライム市場 証券コード：6089

<https://willgroup.co.jp/>

# 目次

1. 2025年3月期第3四半期累計実績
2. 2025年3月期通期業績予想、株主還元

本資料においては一部、「国内Working事業」を「国内W」、「海外Working事業」を「海外W」という略称で表記しています。

# 2025年3月期第3四半期累計 実績

# 1

## 連結業績

- 売上収益は、国内Wの建設技術者領域をはじめとする戦略投資領域が順調に拡大したことにより増収。
- 営業利益は、一過性の子会社株式売却益のはく落、連結除外による影響により計画通りの減益。
- ノーマライズド営業利益では、海外Wの派遣粗利、紹介粗利が減少したものの、国内Wの建設技術者領域が計画通り黒字化したことにより、9.5%の増益。



\*1 ノーマライズド営業利益： 前年同期に含まれる一過性の子会社株式売却益・連結除外の影響を除いた営業利益

\*2 EBITDA： 営業利益 + 減価償却費及び償却費

# 業績ハイライト (セグメント業績)

## 国内Working事業

- 売上収益は、コールセンターアウトソーシング領域の低迷が続くものの、建設技術者領域をはじめとする戦略投資領域が順調に拡大し、1.3%の増収。
- セグメント利益は、一過性の子会社株式売却益のはく落、連結除外の影響による減益の一方、ノーマライズドベースでは建設技術者領域の黒字化により、13.3%の増益。

### 売上収益

**624.4 億円**

(前年同期比 +1.3%)

### セグメント利益

**20.8 億円**

(前年同期比 -30.5%)  
(ノーマライズドベースでは前年同期比 +13.3%)

## 海外Working事業

- 市況や顧客ニーズの回復は想定より遅れており、オーストラリア、シンガポール共に厳しい市況が続く。
- 営業利益は、円安によるプラスの為替影響や、1Qにシンガポールの政府補助金収入があったものの、8.5%の減益。

### 売上収益

**427.8 億円**

(前年同期比 +1.7%)

### セグメント利益

**15.0 億円**

(前年同期比 -8.5%)

# 2025年3月期 第3四半期累計 連結実績

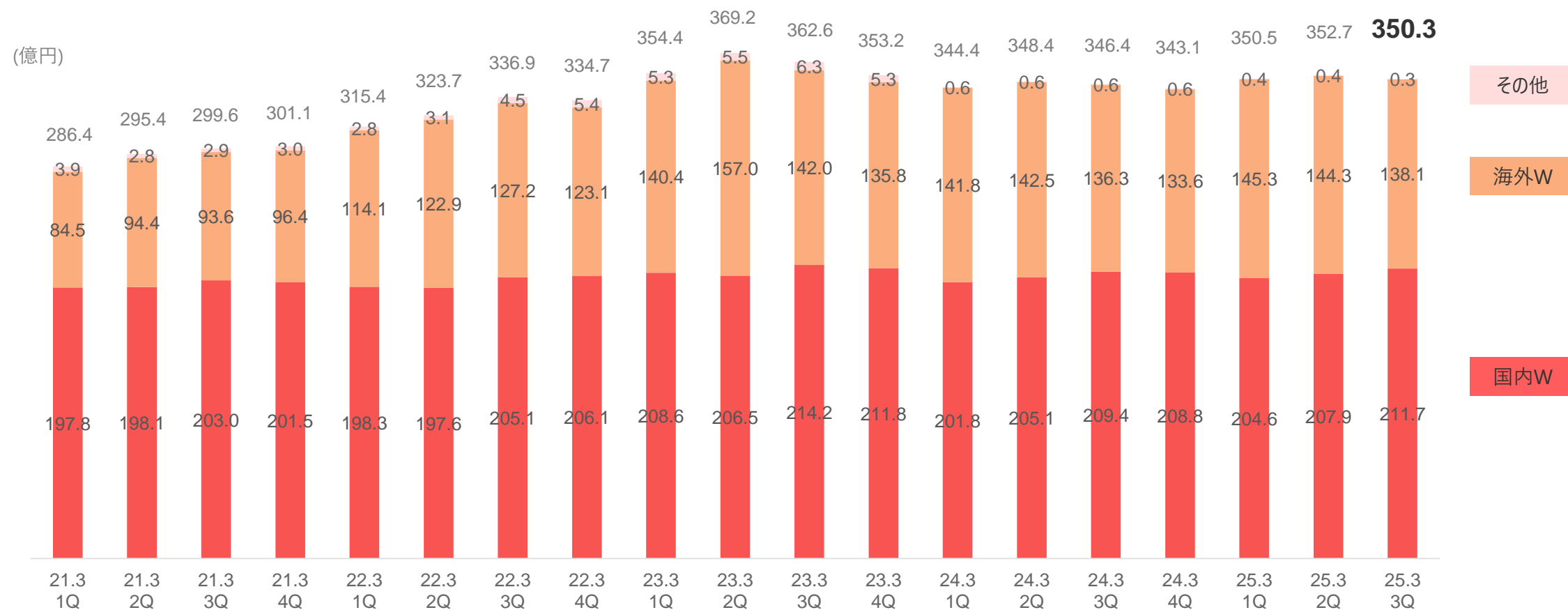
- 3Qは、海外Wの伸び悩みが続くものの、建設技術者領域をはじめとする国内Wの戦略投資領域は堅調に推移し、ノーマライズド営業利益率は維持。
- 主要KPIはいずれも計画を達成し、中期経営計画の基本戦略「国内Working事業の再成長」は着実に進捗。

【連結業績】 (単位：億円)	前年同期	当期実績	前年同期比(額)	前年同期比(率)
売上収益	1,039.1	1,053.5	+14.3	+1.4 %
売上総利益	231.0	220.9	-10.1	-4.4 %
(売上総利益率)	( 22.2 %)	( 21.0 %)	( -1.2 pt)	
営業利益	27.9	17.9	-10.0	-35.9 %
(営業利益率)	( 2.7 %)	( 1.7 %)	( -1.0 pt)	
ノーマライズド営業利益	16.3	17.9	+1.5	+9.5 %
(ノーマライズド営業利益率)	( 1.6 %)	( 1.7 %)	( +0.1 pt)	
親会社の所有者に帰属する当期利益	15.6	11.1	-4.4	-28.6 %
【 KPI 】	前期	当期実績	計画	計画比
年間採用人数 (建設技術者領域)	1,424 名	1,382 名	1,200 名	115.1 %
定着率 (建設技術者領域)	71.2 %	71.7 %	71.3 %	+0.4 pt
正社員派遣稼働人数	3,254 名	3,487 名	3,274 名	106.5 %
(国内W (建設技術者領域以外))	(前期末比増加人数)	+233 名)		
外国人雇用支援人数 (国内W)	2,341 名	2,942 名	2,900 名	101.4 %
	(前期末比増加人数)	+601 名)		

従業員数：7,927 人 (前年度末比：+923 人)

# 連結売上収益の四半期推移

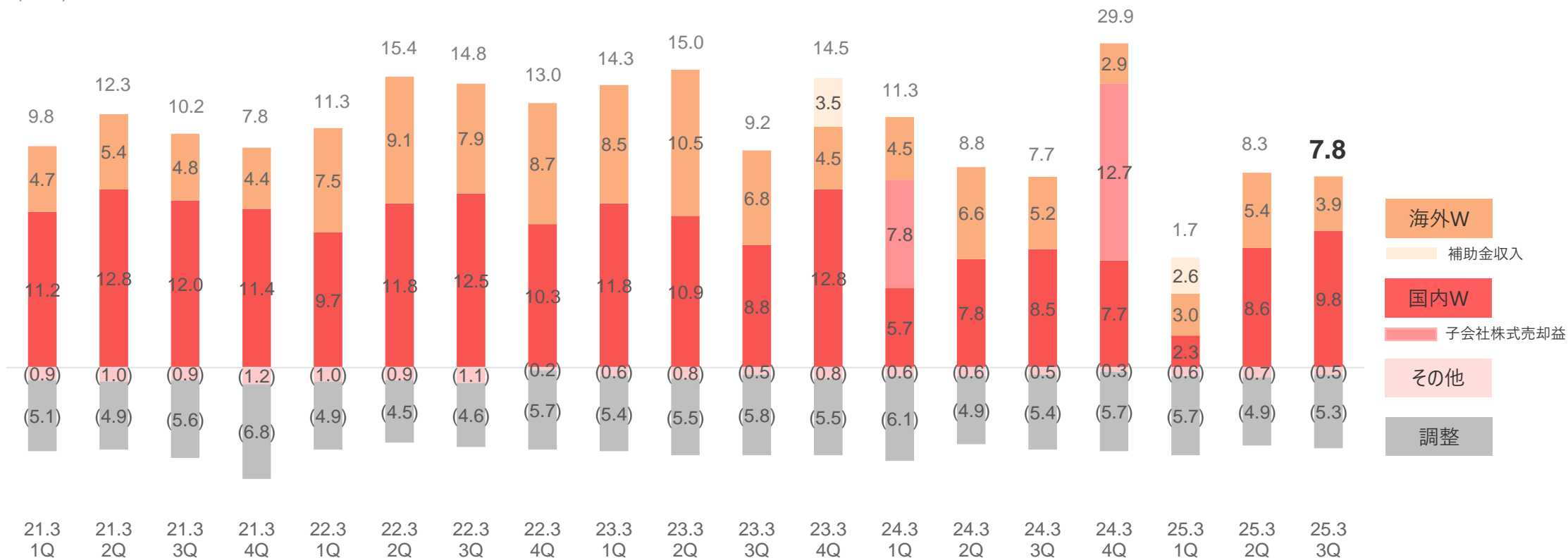
- 3Qは、25.3期2Q比 2.4億円の減収(うち、為替影響 -0.5億円)。
- 海外Wは人材紹介、人材派遣ともに伸び悩むものの、国内Wは堅調に推移。



# 連結営業利益の四半期推移

- 3Qは、25.3期2Q比 0.5億円の減益(うち、為替影響 -0.0億円)。
- 海外Wの前年同四半期比減益が続く一方、国内Wは建設技術者領域の黒字化が寄与し増益基調。
- 3Q累計で3.8億円(1Q 1.7億円、2Q 1.8億円、3Q 0.2億円)のプロモーションを実施。

(億円)



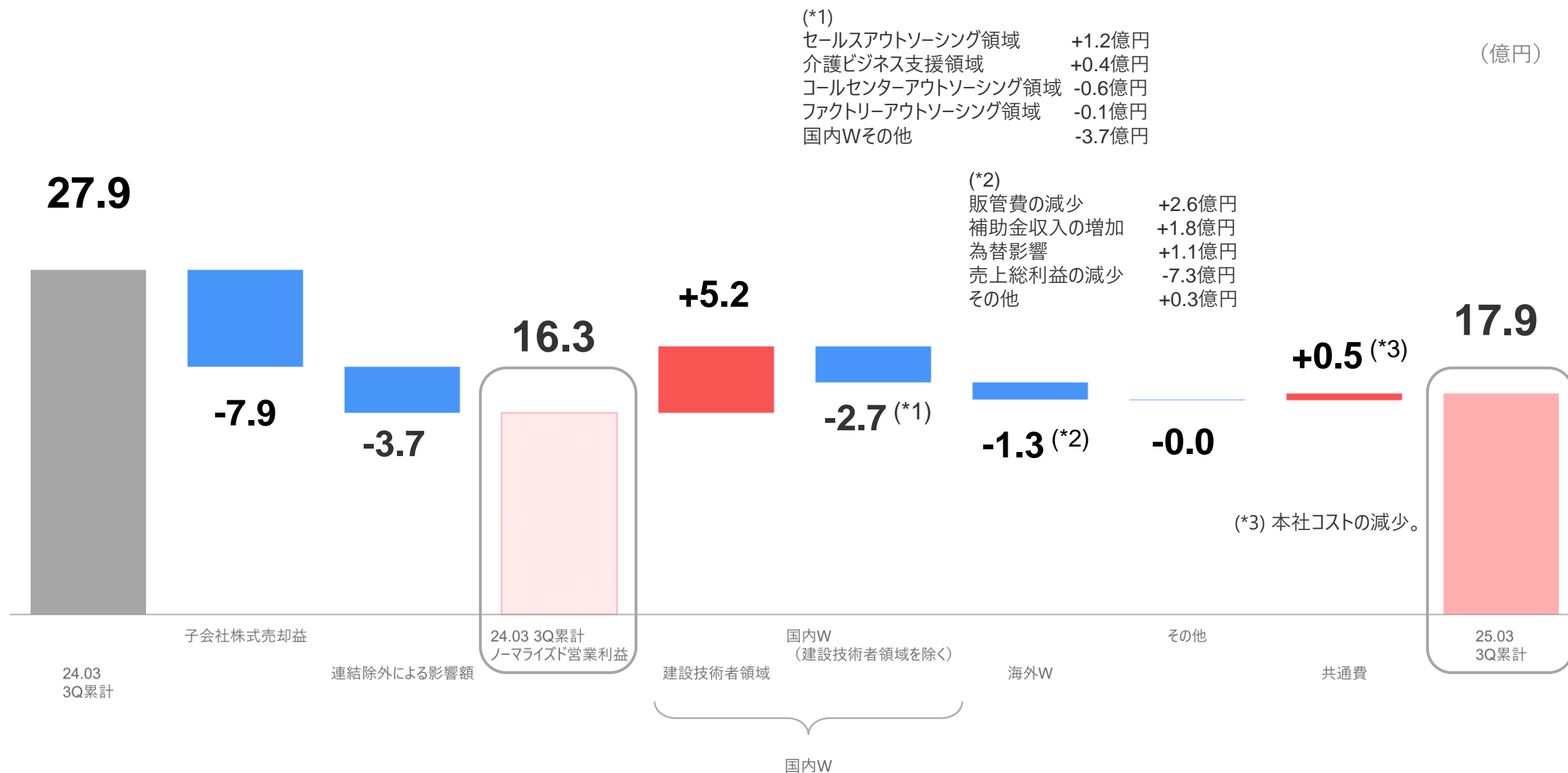


# 売上収益の前年同期増減内訳

(億円)



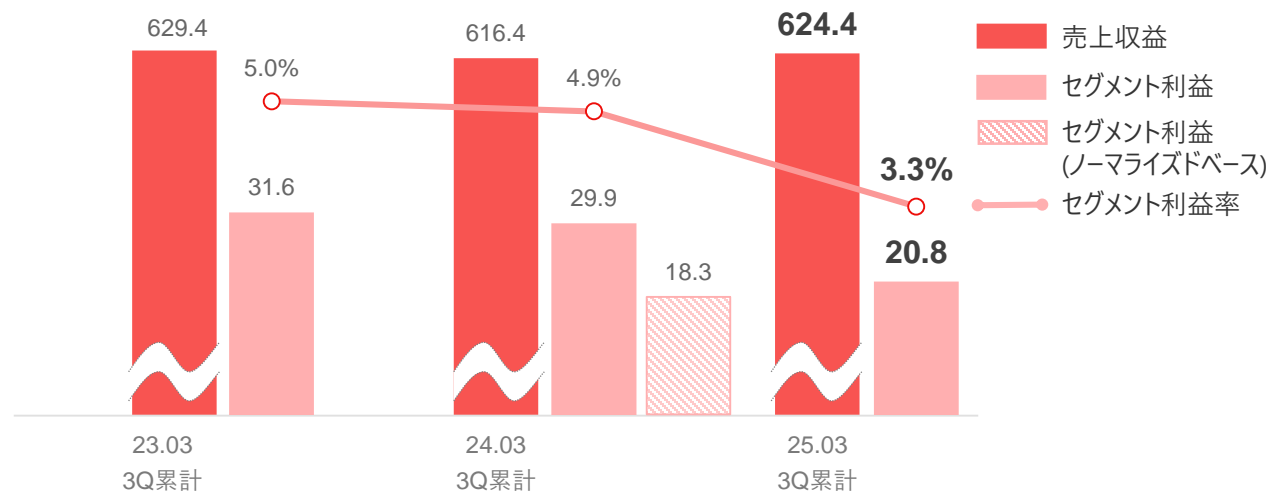
# 営業利益の前年同期増減内訳



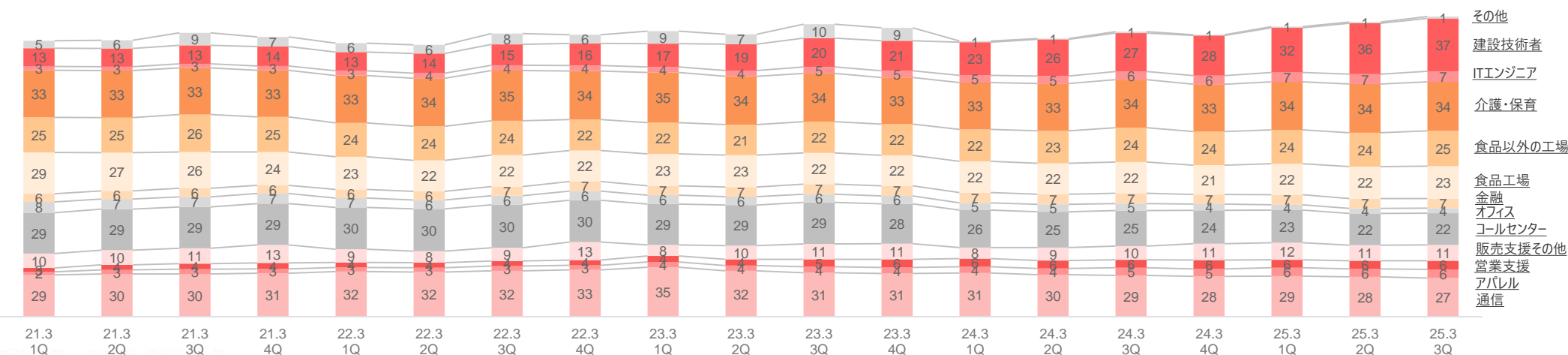
- ノーマライズド営業利益は、建設技術者領域が計画通り黒字化したことにより、13.3%の増益。
- 分野別売上では、建設技術者領域、ITエンジニア領域が順調に推移。

## - 売上収益、セグメント利益 -

(単位：億円)	実績	前期	前期比
売上収益	624.4	616.4	+1.3%
セグメント利益	20.8	29.9	-30.5%
セグメント利益 (ノーマライズドベース)	20.8	18.3	+13.3%



## - 分野別売上の内訳 -

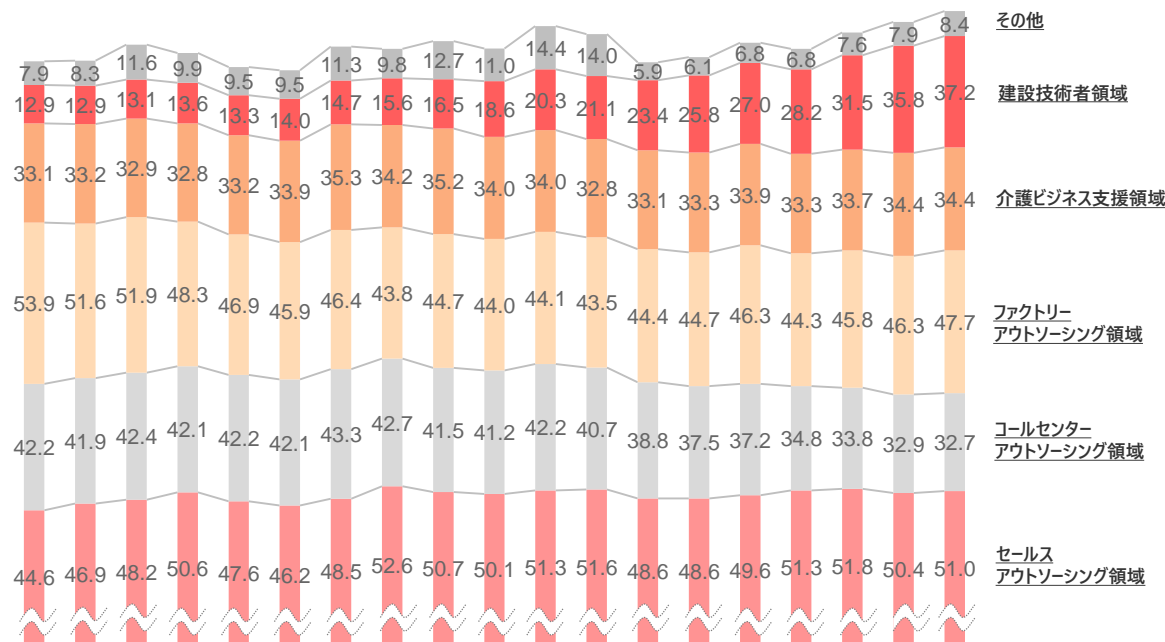


# 国内Working事業 (領域別売上、営業利益)

- 売上は、コールセンターアウトソーシング領域を除き堅調に推移。営業利益においても、25.3期2Qと比較して、粗利が着実に増加したことに加え、プロモーション費用の減少により増益で推移。
- 3Q累計で3.8億円(1Q 1.7億円、2Q 1.8億円、3Q 0.2億円)のプロモーションを実施。

- 領域別売上 (億円) -

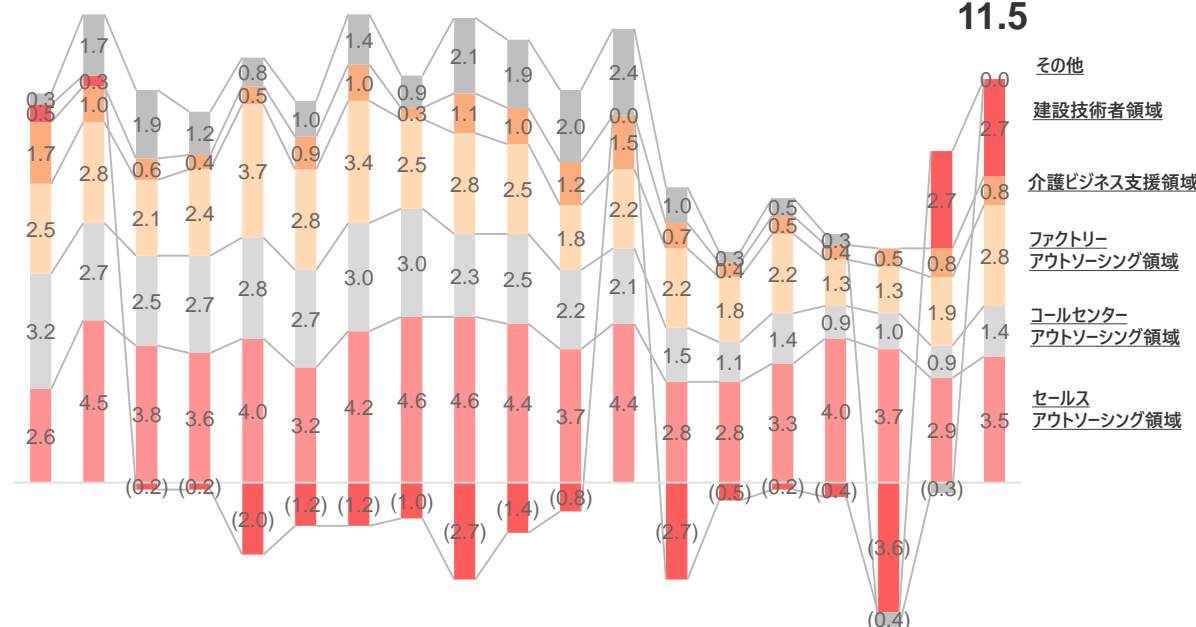
211.7



21.3 21.3 21.3 21.3 22.3 22.3 22.3 22.3 23.3 23.3 23.3 23.3 24.3 24.3 24.3 24.3 25.3 25.3 25.3  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q

- 領域別営業利益 (億円) -

11.5

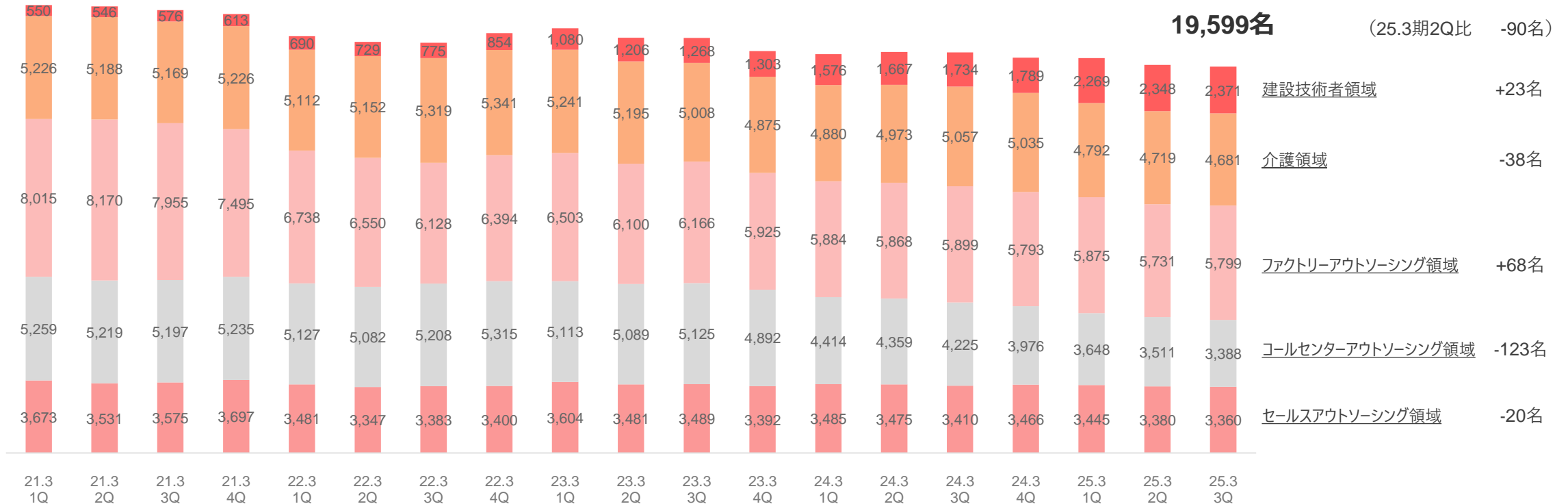


21.3 21.3 21.3 21.3 22.3 22.3 22.3 22.3 23.3 23.3 23.3 23.3 24.3 24.3 24.3 24.3 25.3 25.3 25.3  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q

※セグメント内の連結調整は含んでいません。

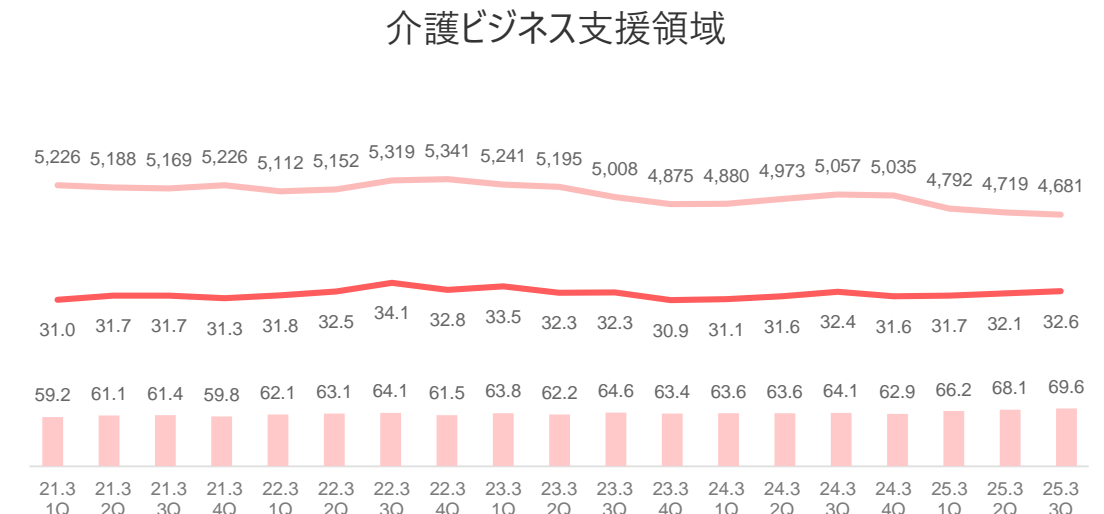
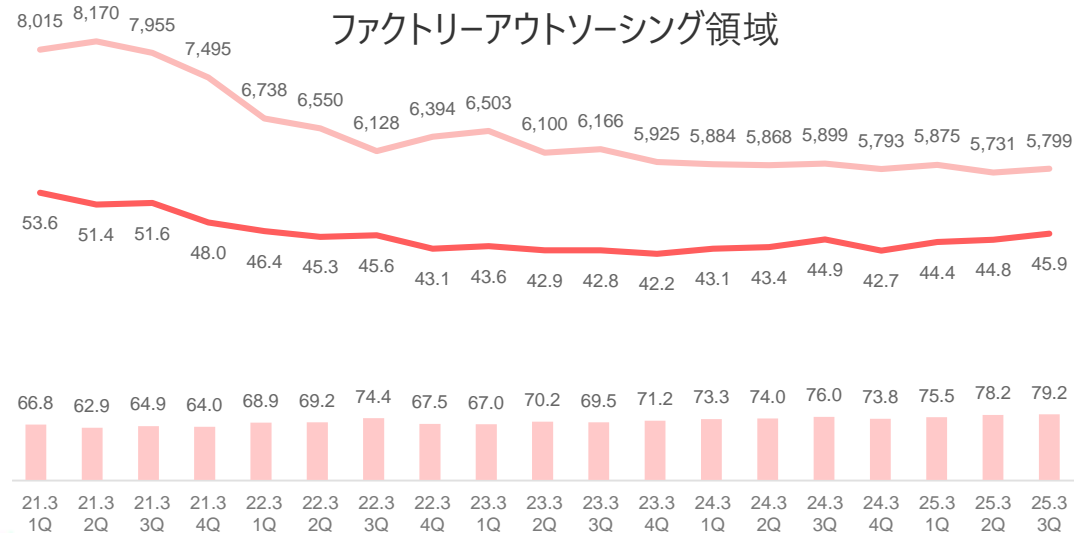
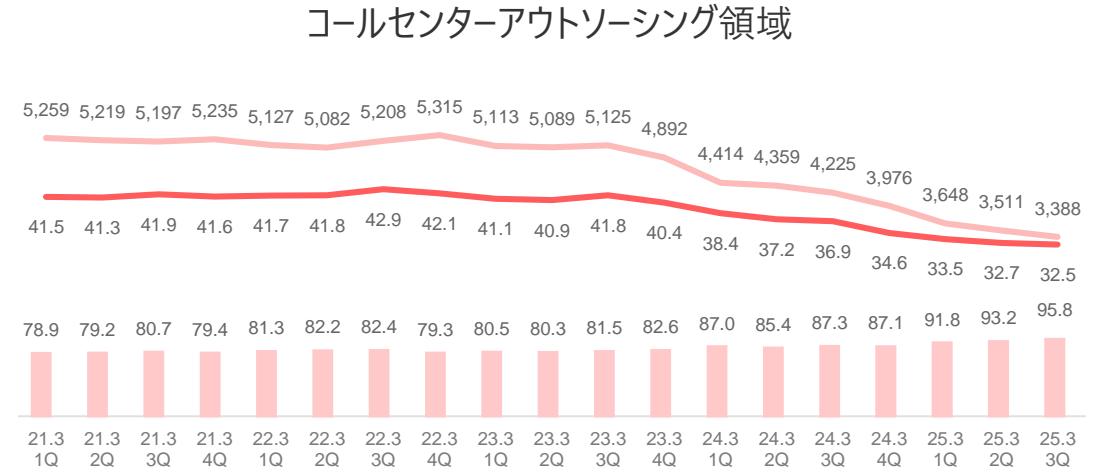
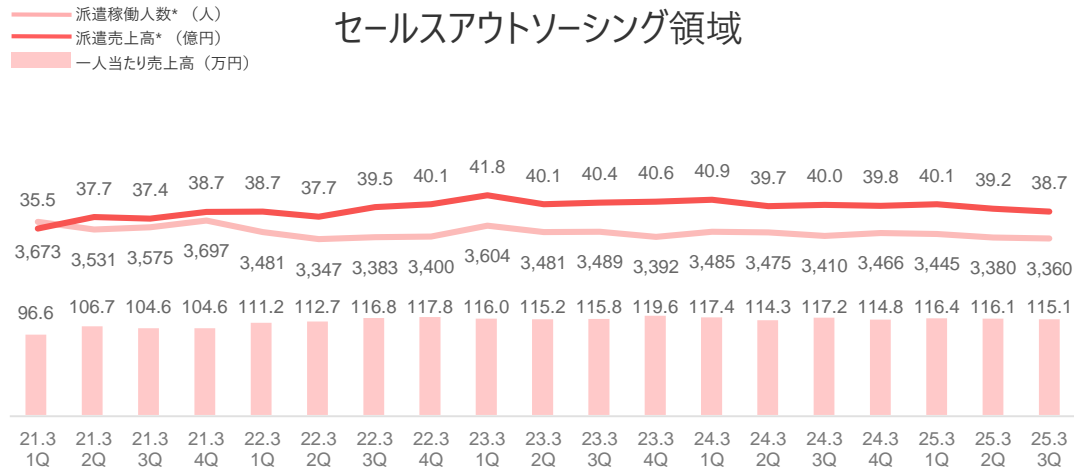
# 国内Working事業 (稼働人数の推移)

- 派遣稼働人数は、25.3期2Qと比較して90名減少。人材確保の難化等により派遣稼働人数は減少傾向が続くものの、高単価案件の獲得や長時間勤務スタッフの稼働増加など、生産性を高める取り組みを実施。
- 建設技術者領域をはじめとした戦略投資領域における正社員派遣稼働人数は着実に増加。



# (参考) 国内Working事業 (既存4領域の派遣稼働人数・売上高の四半期推移)

- 既存4領域での派遣稼働人数は減少しているものの、生産性を高めることで一人当たり売上高は着実に向上。
- 人材確保が難しい局面でも安定的な売上の創出を目指す。



# 中期経営計画(WILL-being2026) KPI進捗

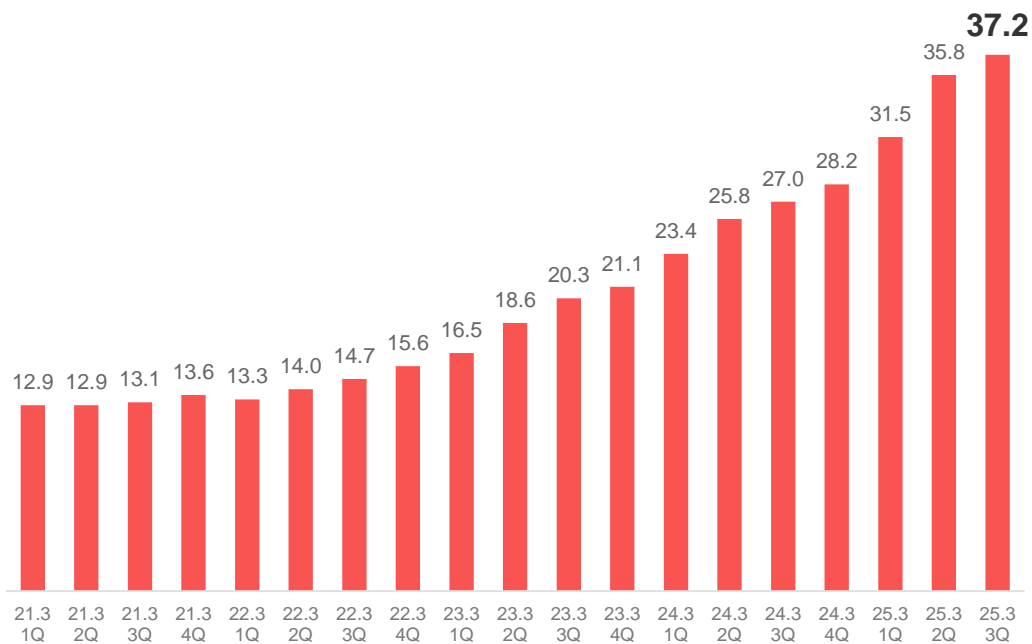
- 全てのKPIで順調。
- 中期経営計画の基本戦略「国内Working事業の再成長」は、着実に進捗。

重点戦略		KPI	計画	当期	計画比	評価	
国内W	戦略Ⅰ	建設技術者領域の 更なる成長、収益化を実現	年間採用人数	1,200 名	<b>1,382 名</b>	<b>115.1 %</b>	○
			定着率	71.3 %	<b>71.7 %</b>	<b>+0.4 pt</b>	○
	戦略Ⅱ	国内W(建設技術者領域 以外)の再成長	正社員派遣稼働人数	3,274 名 (前期末比増加人数)	<b>3,487 名</b> +233 名)	<b>106.5 %</b>	○
			外国人雇用支援人数	2,900 名 (前期末比増加人数)	<b>2,942 名</b> +601 名)	<b>101.4 %</b>	○

- 売上については、契約単価の上昇により順調に推移し、四半期連続増収を更新。
- 採用人数は、通期計画1,200名に対し、3Q累計で1,382名と、前倒しで計画達成。(1Qは新卒採用 453名(前期 260名)を含む。)

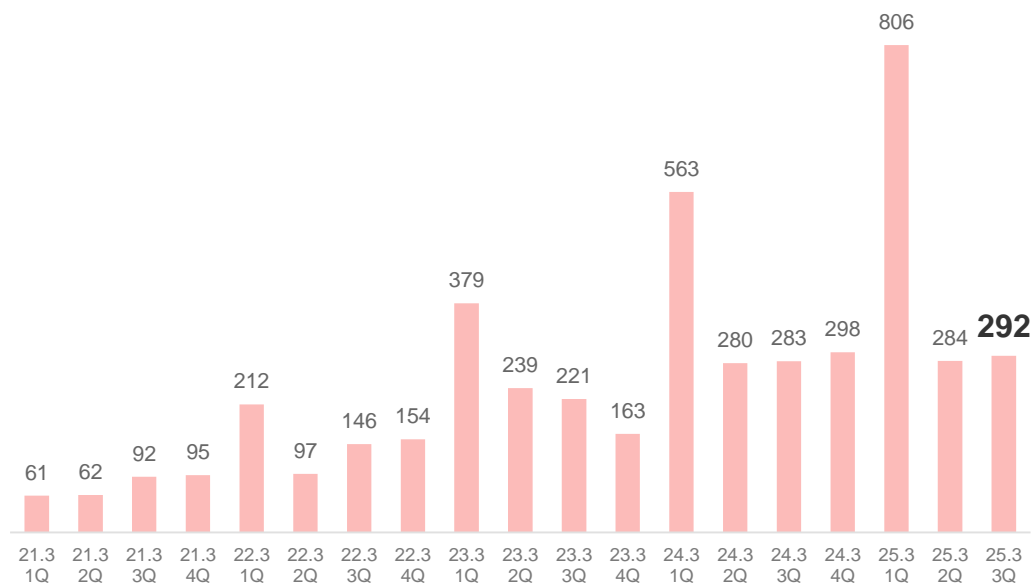
- 四半期別売上の推移 -

(単位：億円)



- 採用人数 -

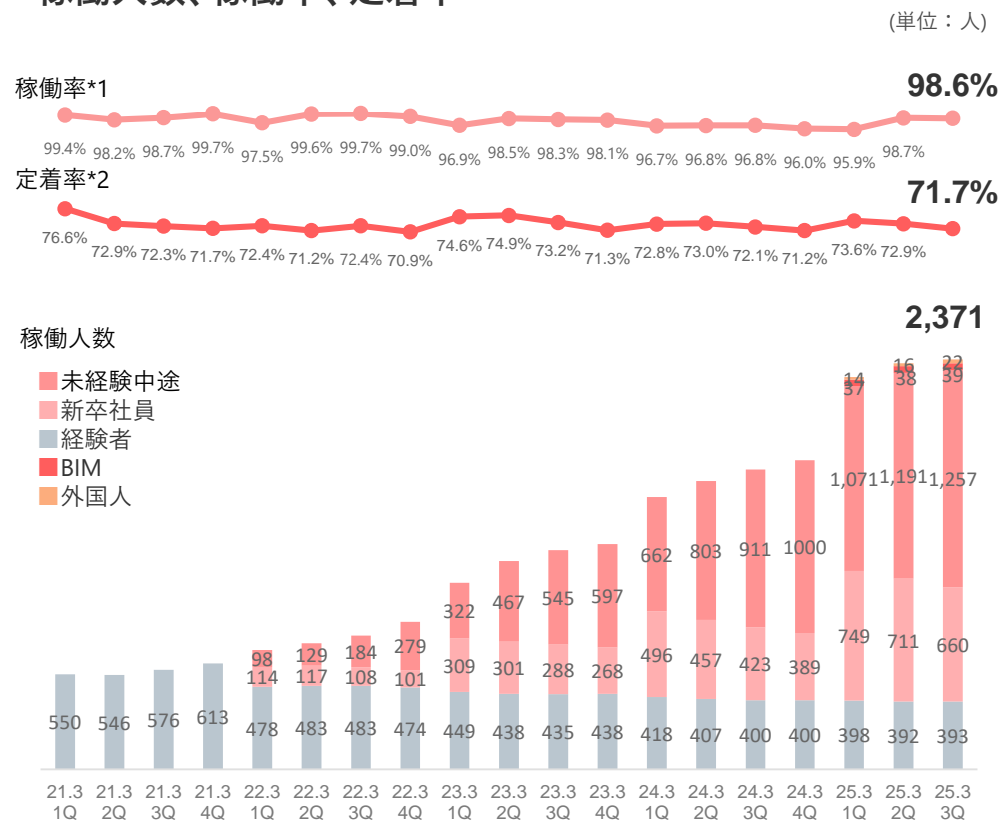
(単位：人)





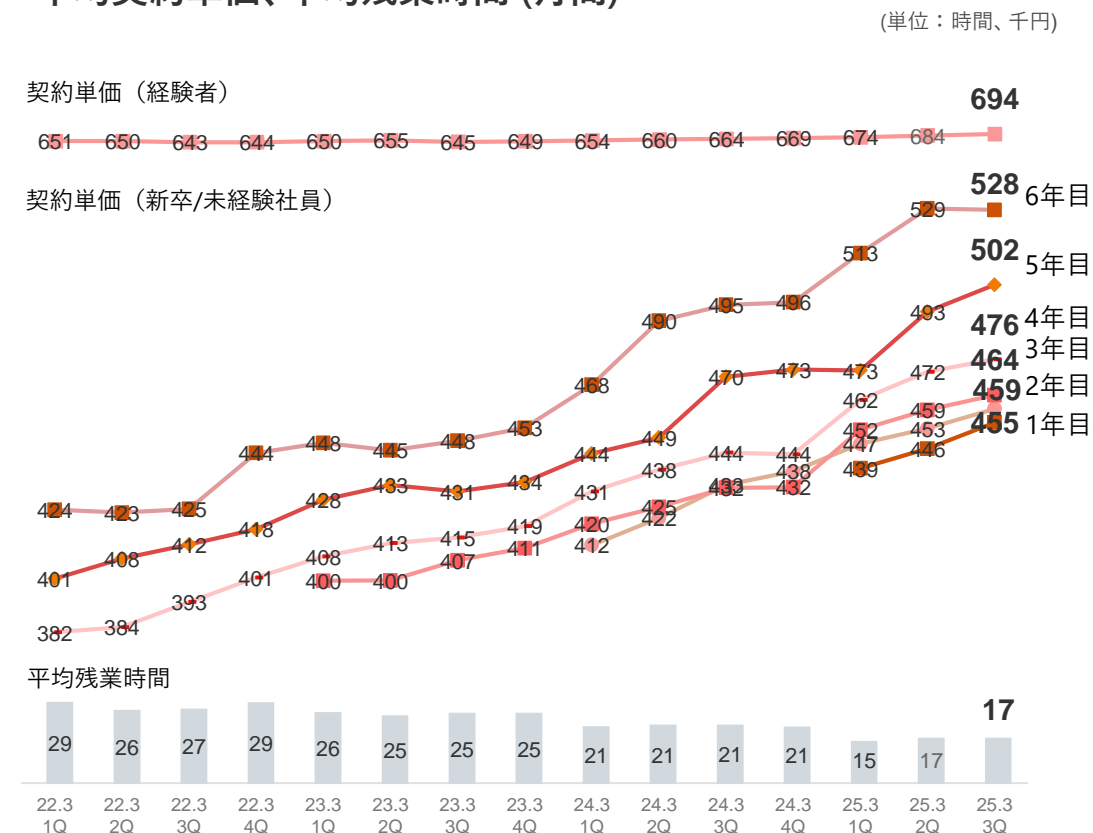
- 定着率は未経験社員の早期退職者が増加し、25.3期2Q比で-1.2pt。配属先の見極めや面談によるフォロー等、定着率向上に取り組む。
- 新卒・未経験の平均契約単価は、顧客との単価交渉により、24.3期3Q比で約6%上昇。

- 稼働人数、稼働率、定着率 -



\*1：1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です  
 \*2：定着率=集計時点在籍人数÷(1年前在籍人数+1年間入社人数)÷100

- 平均契約単価、平均残業時間 (月間) -

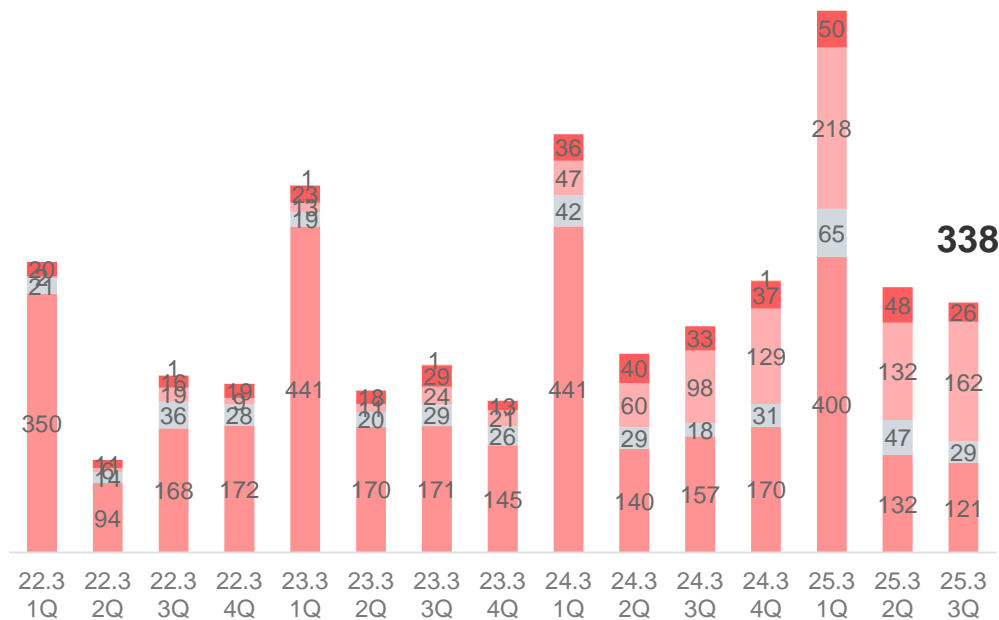


- セールスアウトソーシング領域については、正社員派遣採用人数の積み上げ、正社員派遣稼働人数の純増とともに遅れがあるものの、ファクトリーアウトソーシング領域をはじめとするその他の領域では堅調に推移。
- 正社員派遣稼働人数は、各領域全体での通期計画は達成の見込み。

- 正社員派遣採用人数 -

(単位：人)

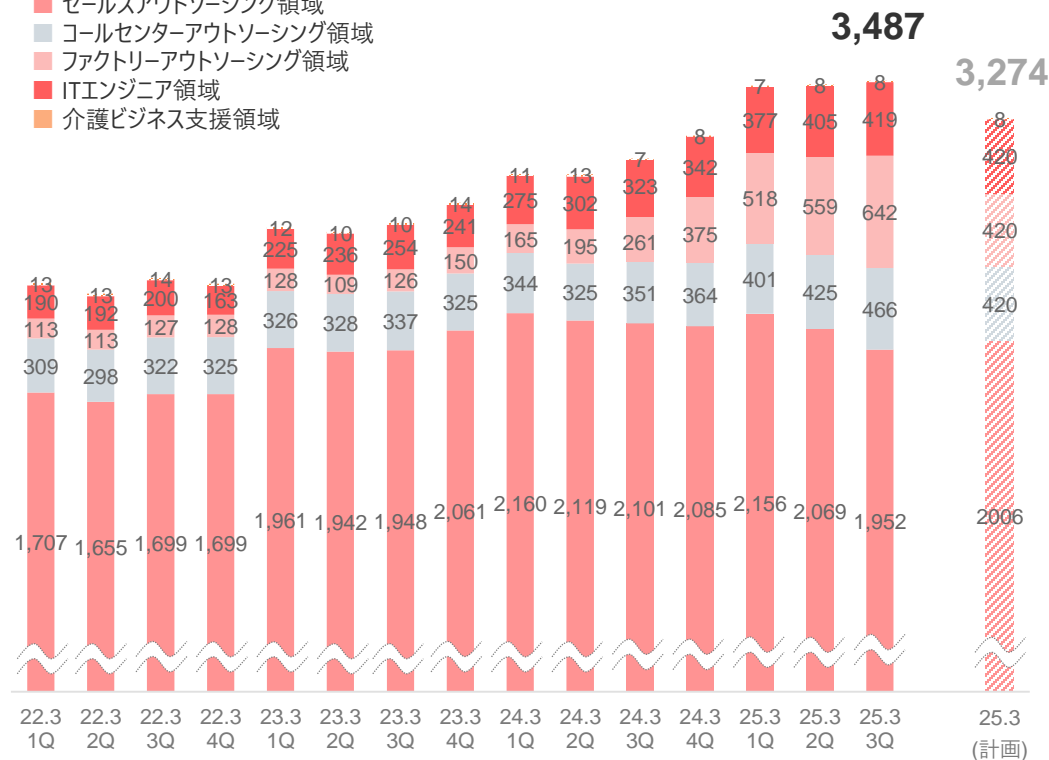
- セールスアウトソーシング領域
- コールセンターアウトソーシング領域
- ファクトリーアウトソーシング領域
- ITエンジニア領域
- 介護ビジネス支援領域



- 正社員派遣稼働人数 -

(単位：人)

- セールスアウトソーシング領域
- コールセンターアウトソーシング領域
- ファクトリーアウトソーシング領域
- ITエンジニア領域
- 介護ビジネス支援領域

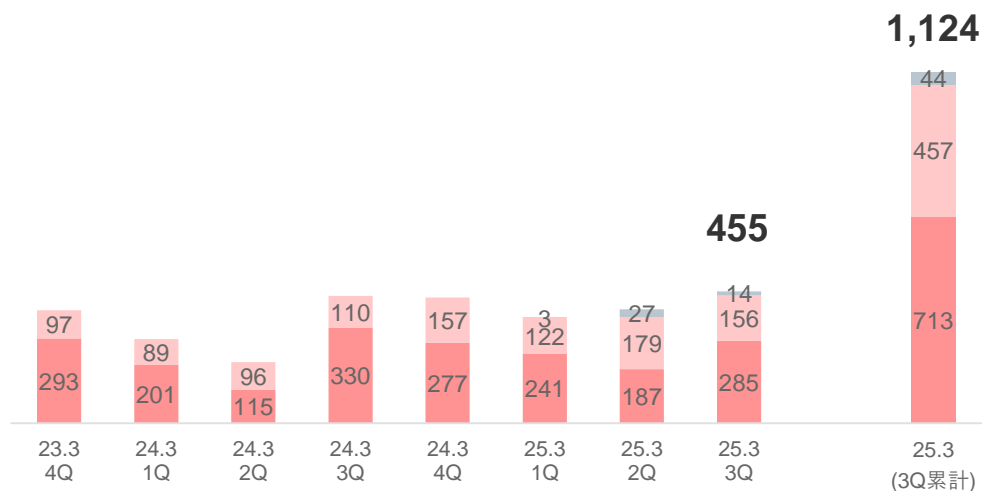


- 外国人雇用支援入社人数は、各領域とも社内計画に対して苦戦しているものの、定着率の向上に努めたことにより、外国人雇用支援人数は着実に積み上がっている。
- 各領域において、継続して成約率が高く集客力の高い海外オーダーの受注獲得に取り組むとともに、ファクトリーアウトソーシング領域においては、人材需要が旺盛で市場規模も大きい食品製造以外の受注獲得に取り組む。

- 外国人雇用支援入社人数 -

(単位：人)

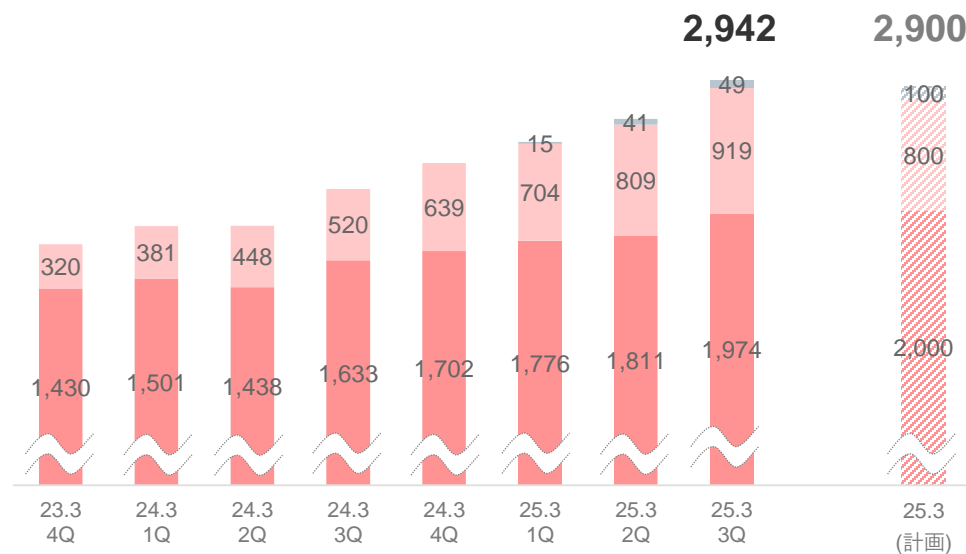
■ ファクトリーアウトソーシング領域  
■ 介護ビジネス支援領域  
■ 新領域



- 外国人雇用支援人数 -

(単位：人)

■ ファクトリーアウトソーシング領域  
■ 介護ビジネス支援領域  
■ 新領域



- ベトナム現地法人 WILLOF Vietnam Company Limited が優れた外国企業に贈られる『FDI (Foreign Direct Investment) アワード』を受賞。
- 当社グループは、教育や採用支援を通じて、国境や国籍といったあらゆる壁を乗り越え、全ての人々が幸せな未来を築くためのサポートを継続して実施していく。

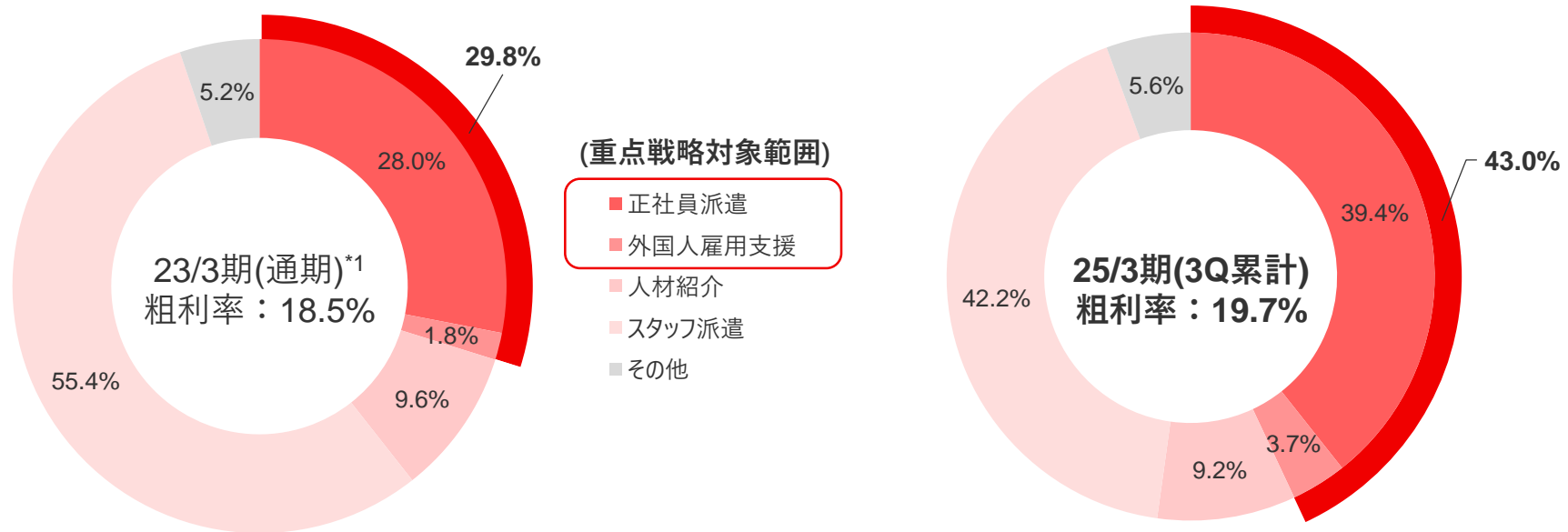


WILLOF Vietnamは、2020年3月にベトナムに設立し、日本企業および在越日系企業向けの採用支援や日本へ就業を希望する方の教育・就業支援、ベトナム国内人材紹介等を展開しています。

写真左：授賞式の様子、写真右：受賞記念品

# 中期経営計画(WILL-being2026) 売上総利益のサービス別構成比の変化

- 重点戦略対象範囲 (正社員派遣・請負、外国人雇用支援) の売上総利益の構成比は、前中期経営計画最終年度(23.3期)の29.8%に対し、当期(3Q累計)は43.0%と順調に拡大。
- これにより、粗利率も1.2pt向上(18.5% → 19.7%)。



\*1 23/3期(通期)は、前期までに連結除外となった子会社の数字を除外して計算。

# 中期経営計画(WILL-being2026)「WILLOF（ウィルオブ）」プロモーションの成果

- 6月に引き続き、9月にも関東エリアを含めた18都府県でテレビCMを実施。
- プロモーション実施前の23.3期と比較して、認知率、指名検索数、利用意向度ともに大幅に増加しており、一定の効果が出ている。

## プロモーションによる期待効果

ブランド認知度向上

WILLOF検索件数UP

自社媒体からの採用数増加

## プロモーション実績

国内Working事業で展開する「WILLOF（ウィルオブ）」のブランドプロモーションとして、タレントを起用した地上波テレビCMを関西・中京・福岡・沖縄エリアに加え、関東エリアでも実施。併せて、YouTube等のインターネット広告配信も実施。



ウィルオブの認知率\*1

約**370%UP**

\*1 放映地域20~59歳男女の助成想起率

「ウィルオブ」指名検索数（月）

約**450%UP**

ウィルオブの利用意向度\*2

約**310%UP**

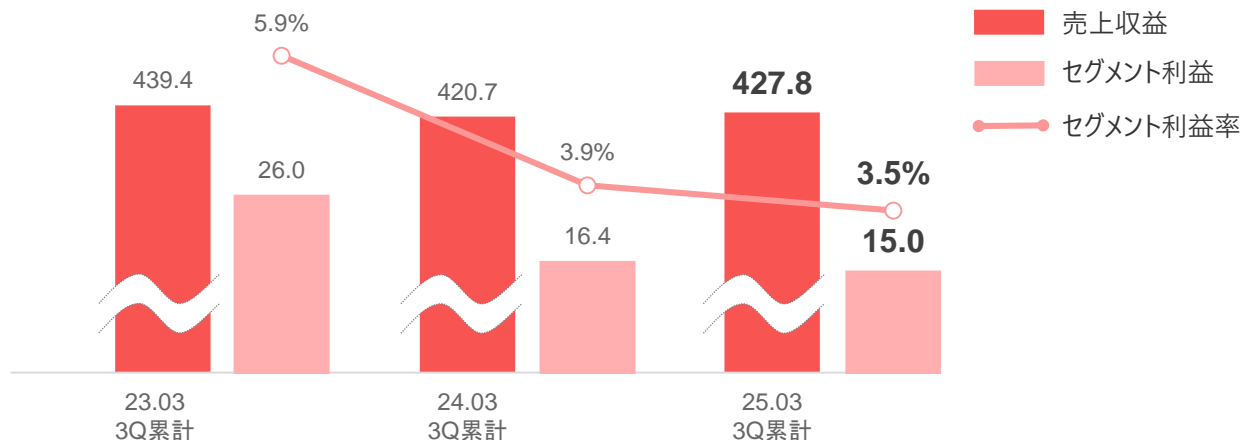
\*2 転職意向のある放送地域20~59歳男女

※2023年3月期との比較

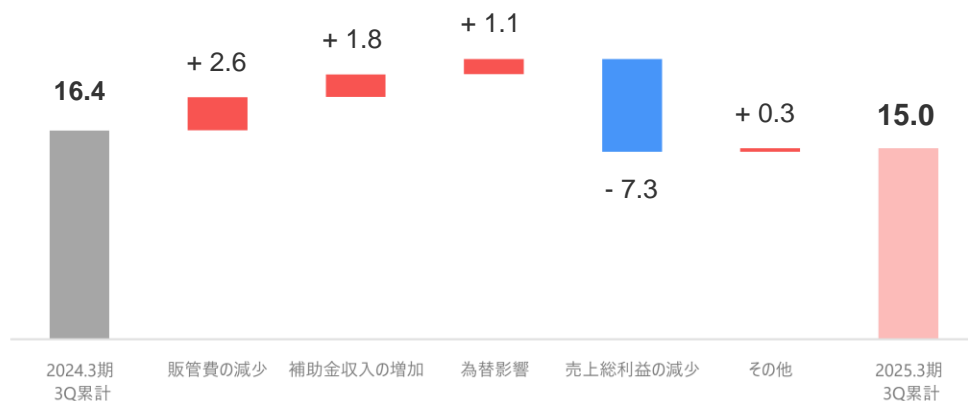
- 人材需要の低迷による採用抑制が継続しており、人材派遣、人材紹介ともに減収減益。
- 前年同期と比較した為替影響は、売上収益 +29.7億円、セグメント利益 +1.1億円。

## - 売上収益、セグメント利益 -

(単位：億円)	実績	前期	前期比
売上収益	427.8	420.7	+1.7%
セグメント利益	15.0	16.4	-8.5%



## -セグメント利益増減要因 (億円) -



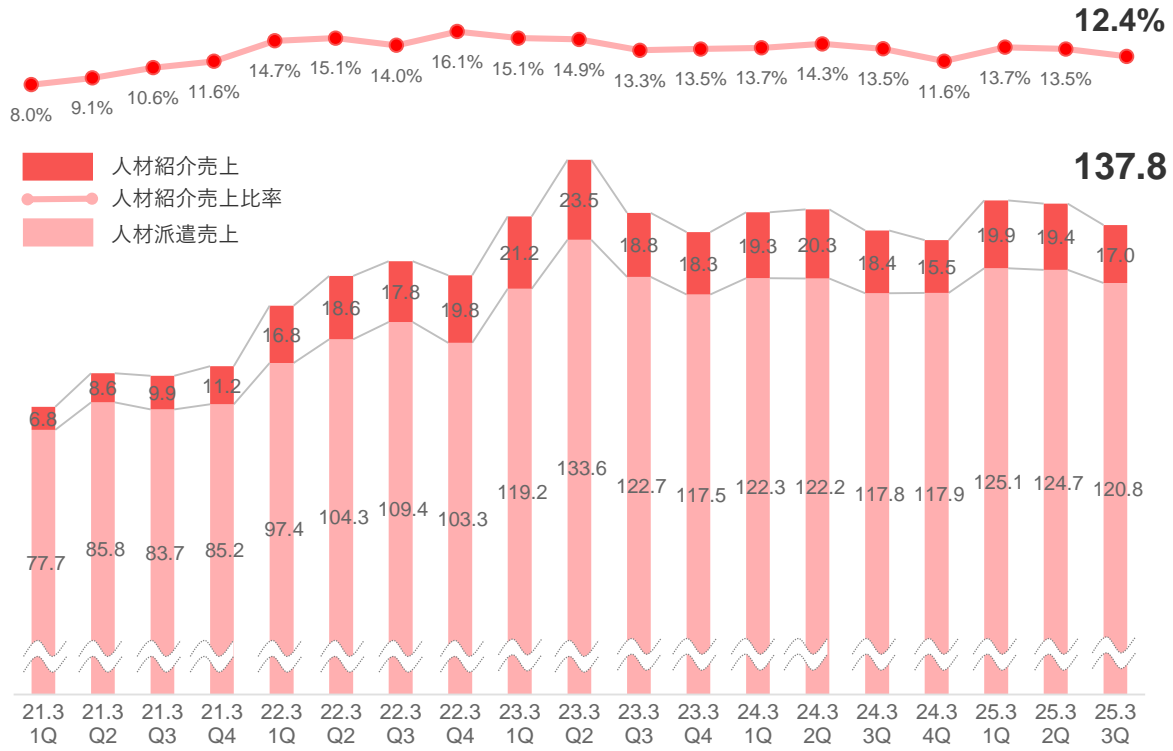
## - 為替感応度 -

	計画レート	3Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
AUD	91円	100円	94円	3.8億円	0.1億円
SGD	104円	114円	106円	1.4億円	0.1億円

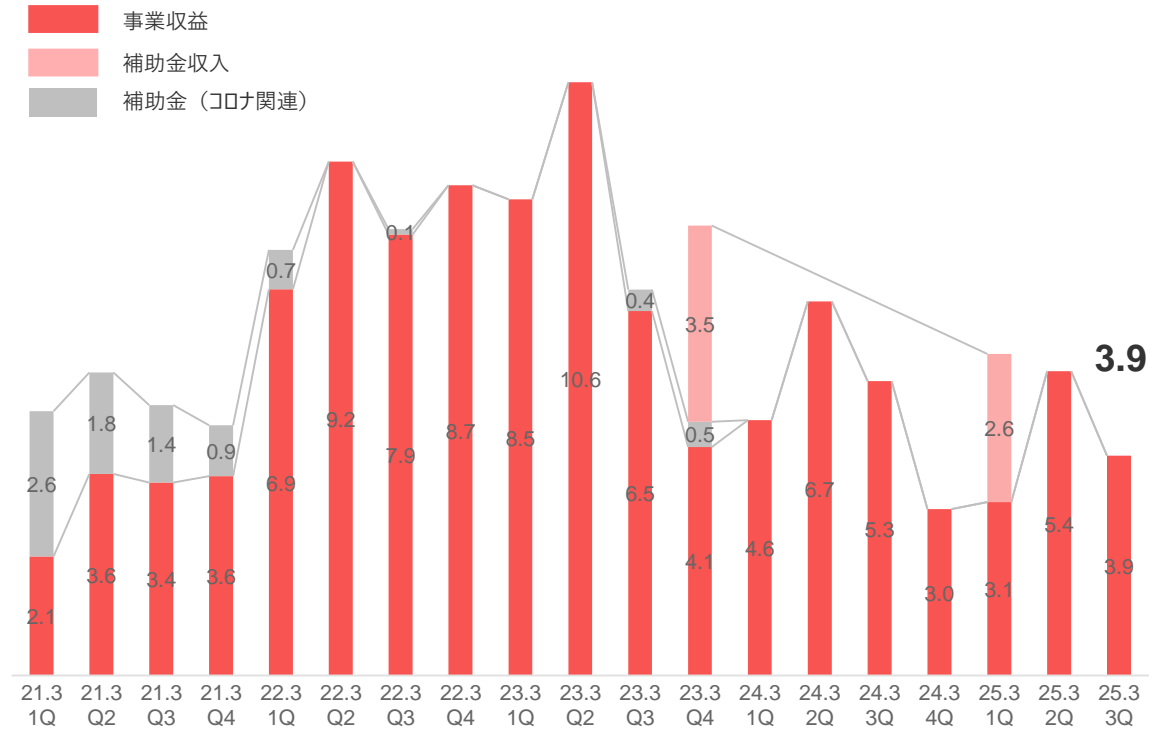
# 海外Working事業 (契約形態別売上、営業利益推移)

- マクロ経済の悪化による停滞が継続する中、競争力のある分野での人材投資を維持しつつ、コストコントロールを継続。

- 契約形態別売上 (億円) -

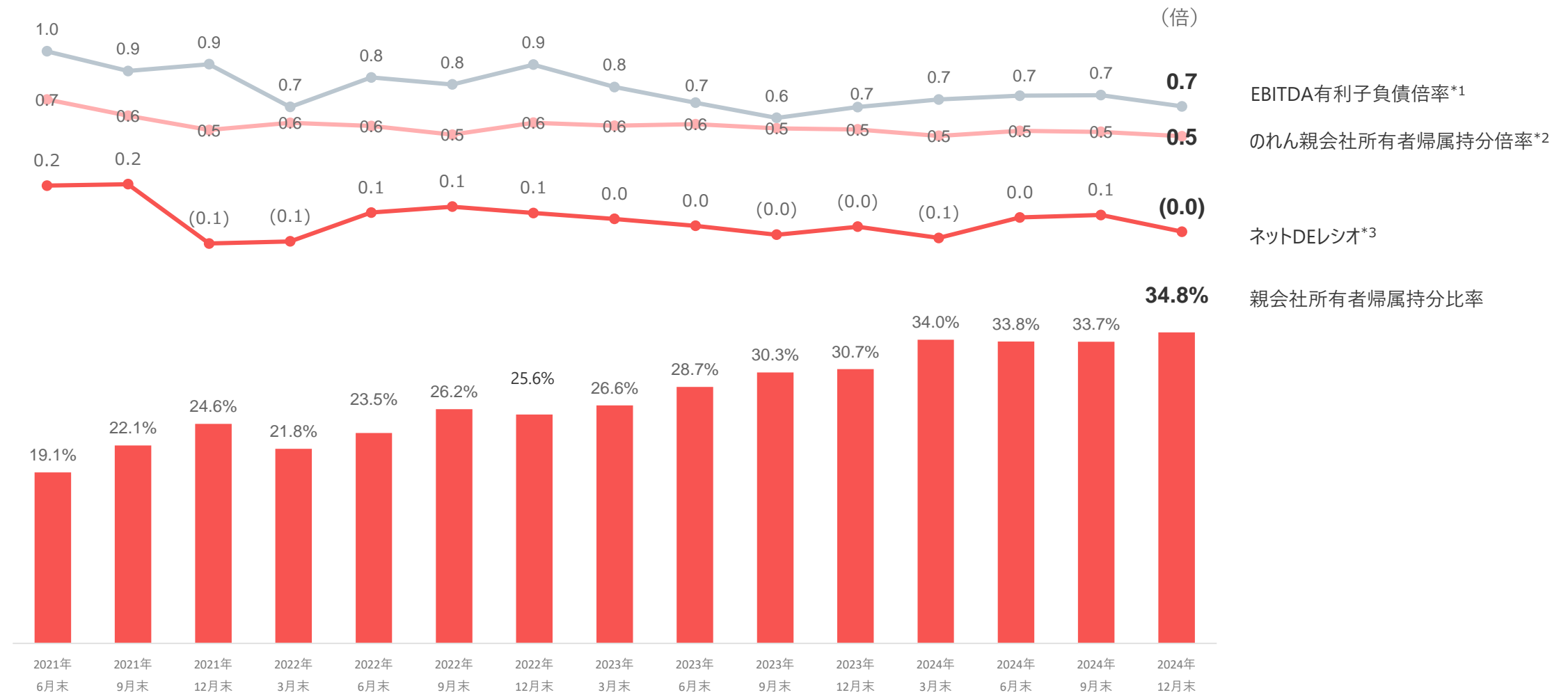


- 営業利益 (億円) -





- 親会社所有者帰属持分比率は34.8%。その他財務指標も着実に改善。



\*1：有利子負債残高(短期借入金除く)÷EBITDA  
 \*2：のれん残高÷親会社所有者帰属持分合計  
 \*3：(有利子負債残高-現預金)÷親会社所有者帰属持分合計

# 連結貸借対照表

- 資産は 1.0億円の増加(役員貸付金 +3.0億円、のれんの増加 +2.0億円、その他の無形資産の減少 -2.2億円等)。
- 負債は 3.5億円の減少(短期借入金純増減 +5.9億円、未払法人所得税 -7.7億円、リース負債の減少 -6.3億円等)。
- 資本は 4.6億円の増加(当期利益の増加 +11.1億円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少 -10.1億円等)。

(単位：億円)	2024年 3月末	2024年 12月末	増減額	(単位：億円)	2024年 3月末	2024年 12月末	増減額
流動資産合計	261.2	262.8	+1.5	流動負債合計	245.3	254.0	+8.6
うち、現金及び現金同等物	71.0	68.5	-2.4	うち、営業債務及びその他の債務	164.8	171.5	+6.7
うち、営業債権及びその他の債権	175.1	176.1	+0.9	うち、借入金	24.9	32.4	+7.5
非流動資産合計	254.1	253.6	-0.4	うち、その他の金融負債	21.1	20.8	-0.3
うち、のれん	87.3	89.4	+2.0	非流動負債合計	94.9	82.6	-12.2
うち、その他の無形資産	61.0	58.8	-2.2	うち、借入金	34.4	30.2	-4.1
資産合計	515.4	516.5	+1.0	うち、その他の金融負債	48.3	41.9	-6.4
親会社所有者帰属持分比率	34.0%	34.8%	+0.8pt	負債合計	340.2	336.7	-3.5
ネットD/Eレシオ	-0.1倍	-0.0倍	—	資本合計	175.1	179.8	+4.6
のれん 親会社所有者帰属持分倍率	0.5倍	0.5倍	—	うち、親会社所有者帰属持分合計	175.0	179.6	+4.5
EBITDA有利子負債倍率	0.7倍	0.7倍	—	負債及び資本合計	515.4	516.5	+1.0

# 連結キャッシュ・フロー

- 営業C/Fは、税引前利益の計上、営業債権債務の増減等により、20.3億円の収入。
- 投資C/Fは、役員貸付金による支出、投資有価証券の取得等により、10.0億円の支出。
- 財務C/Fは、配当金の支払い、短期借入金純増減等により、14.1億円の支出。

(単位：億円)	2024/3期 3Q累計	2025/3期 3Q累計
税引前利益	27.1	16.9
減価償却費及び償却費	16.2	15.3
法人所得税の支払額	(16.4)	(16.2)
その他	1.3	4.2
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>28.3</b>	<b>20.3</b>
有形固定資産の取得及び売却	(3.2)	(2.8)
投資有価証券の取得による支出	(0.0)	(2.9)
その他	(4.5)	(4.2)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(7.8)</b>	<b>(10.0)</b>
<b>フリーキャッシュ・フロー（営業C/F+投資C/F）</b>	<b>20.5</b>	<b>10.2</b>

(単位：億円)	2024/3期 3Q累計	2025/3期 3Q累計
有利子負債の純増減額	(43.9)	(6.7)
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	(0.7)
配当金の支払額	(10.0)	(10.1)
政府補助金による収入	1.4	3.2
その他	0.4	0.2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(52.1)</b>	<b>(14.1)</b>
<b>為替変動の影響額</b>	<b>3.2</b>	<b>1.3</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>(28.3)</b>	<b>(2.4)</b>
現金及び現金同等物の期首残高	95.9	71.0
現金及び現金同等物の期末残高	67.5	68.5

# 代表取締役 角 裕一による当社株式の取得

## 代表取締役 角 裕一による当社株式の取得状況


2024年9月25日公表の通り、代表取締役 角 裕一は、最大3億円規模の当社株式を市場から取得しました。  
この買付けは、2024年9月27日から開始され、2025年1月末で完了しています。  
(この買付けに際し、当社は角個人に対し、公明な条件かつ適切な資産保全策を講じた上で、この買付けに係る資金を融資しました。)

これにより、角の当社株式保有数は、333,000株(発行済株式に占める保有割合は1.44%)になりました。



### 代表取締役 角 裕一のコメント

「私は、2023年6月に代表取締役に就任しましたが、あらためて、当社事業の成長を望む強い気持ちをステークホルダーの皆さまと共有したいと思い、今回の買付けを行うことにしました。  
これにより、経営へのコミットメントを行い、当社事業の成長と中長期的な企業価値の向上を実現していきます。」



2024年9月25日

各位

会社名 株式会社ウィルグループ  
代表者名 代表取締役社長 角 裕一  
(コード番号: 6089 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員 高山 智史  
管理本部長 (TEL. 03-6859-8880)

**当社代表取締役 角 裕一による当社株式の取得に関するお知らせ**

この度、株式会社ウィルグループ（以下、「当社」といいます。）代表取締役 角 裕一（以下、「角」といいます。）が、最大3億円規模の当社発行済株式を市場から買付けることになりましたのでお知らせいたします。

この買付けは、角個人の取引として実行され、一定の価格及び条件の範囲で証券会社に一任されます。買付けは、2024年9月27日より順次開始され、最長で2025年1月末頃までの一定の期間継続する予定です。  
なお、この買付けに際し、当社は本日開催の取締役会において、角個人に対し、公明な条件かつ適切な資産保全策を講じた上で、この買付けに係る資金を融資することを決定しています。今回の買付けについて、角は以下のようにコメントしています。

「私は、2023年6月に代表取締役に就任しましたが、あらためて、当社事業の成長を望む強い気持ちをステークホルダーの皆さまと共有したいと思い、今回の買付けを行うことにしました。これにより、経営へのコミットメントを行い、当社事業の成長と中長期的な企業価値の向上を実現していきます。」

角の当社株式保有数は2024年3月31日時点で30,700株（発行済株式に占める保有割合は0.13%）ですが、仮に2024年9月24日時点の終値でこの買付けが完了した場合、352,588株（発行済株式に占める保有割合は1.53%）になる予定です。

以上

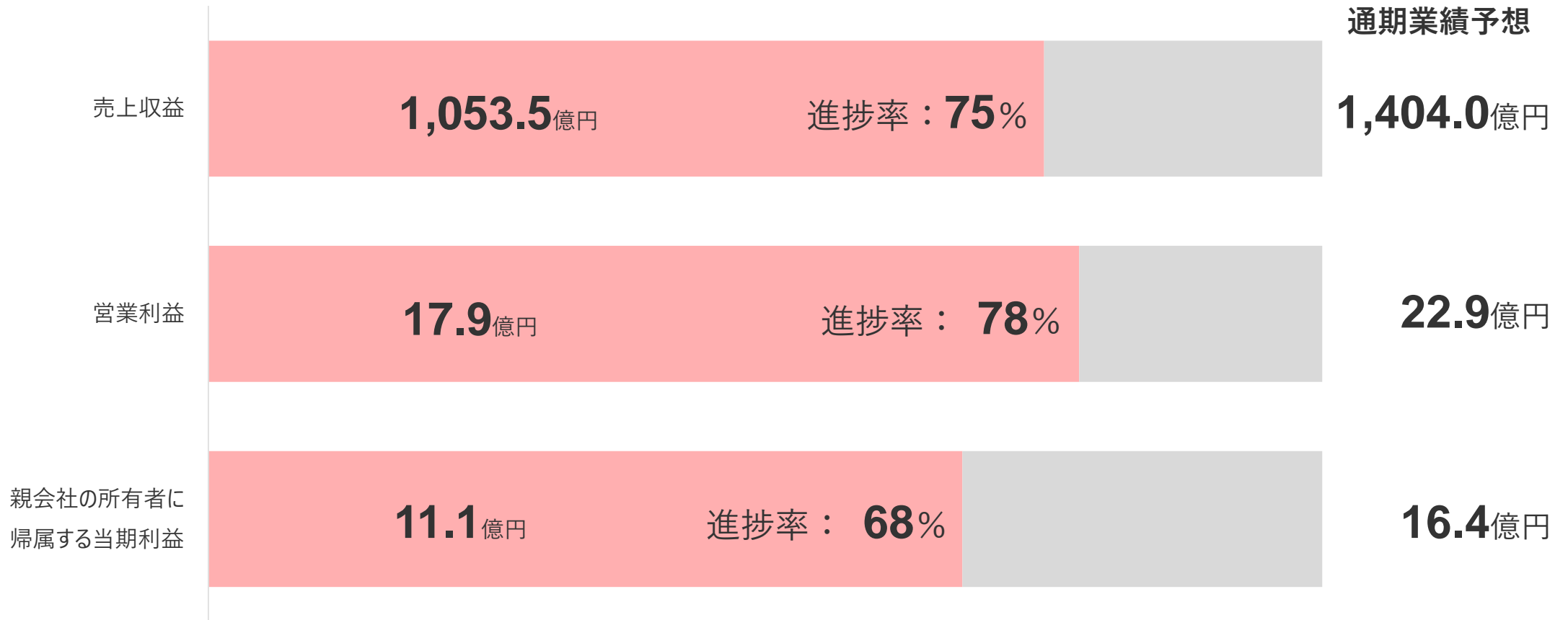
## 2025年3月期業績予想、株主還元

# 2

# 2025年3月期業績見通し

- 3Qは、売上収益、営業利益とも業績予想に対して順調に進捗。ただし、海外Wに若干の遅れ。
- 引き続き、国内Wにおいては、建設技術者領域をはじめとする戦略投資領域の拡大に取り組み、海外Wにおいては、優秀なコンサルタント人員を確保しつつも、事業価値に影響しない範囲でのコストコントロールを実施することで、通期業績の達成を目指す。

## - 業績予想進捗率 -

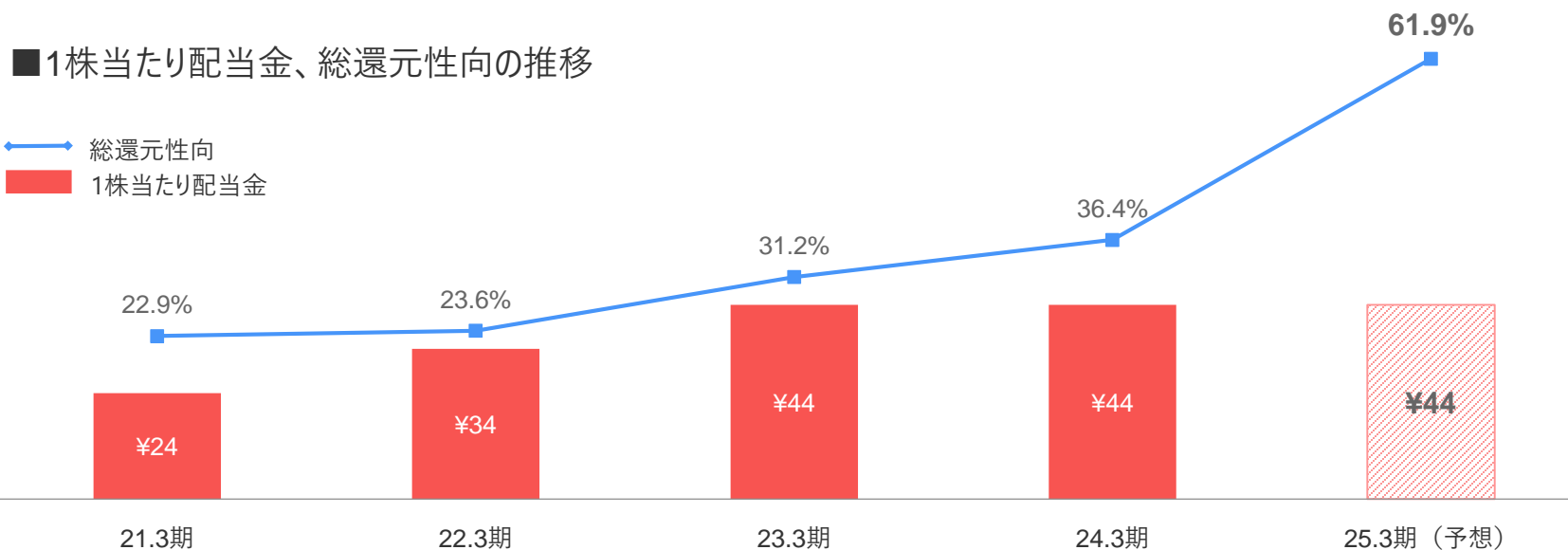


# 株主還元 (2025年3月期 配当予想)

- 2025年3月期の配当予想は、株主還元方針に基づき、前期実績（1株当たり44円）を据え置く。
- 総還元性向は61.9%の見通し。

## 現中計期間(24.3期-26.3期)中の 株主還元方針

- **累進配当**  
減配を原則実施せず、増配または維持
- **総還元性向30%以上**  
期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討



# 株主還元 (株主優待)

- 中長期保有を目的にした株主優待制度を実施。

継続保有期間 ※1	100株以上200株未満	200株以上	優待利回り ※2	配当利回り ※2
1年未満	クオカード 500円分	クオカード 1,000円分	0.5%	4.4%
2年未満	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分	1.0%	
3年未満	クオカード 1,500円分	クオカード 3,000円分	1.5%	
3年以上	クオカード 2,000円分	クオカード 4,000円分	2.0%	

※1 継続保有期間は、基準日である毎年3月31日から起算し、3月31日現在の当社株主名簿に同一株主番号で連続して、2年未満は2回、3年未満は3回、3年以上は4回以上、記載または記録された株主様を対象といたします。

※2 優待利回りおよび配当利回りは、2025年2月7日終値 1,002円で試算しています。







本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶

